

公教育計画学会年報 第7号 戦後レジームからの脱却 2016		
刊行にあたって	嶺井正也	003
特集：戦後レジームからの脱却		
戦後公教育体制の最終再編過程へ	嶺井正也	008
「戦後レジームからの脱却論」に関する批判的考察	相庭和彦	026
大学進学の実状と未来		
一学費と奨学金から考える	大内裕和	042
公教育計画学会 第7回大会記念講演		
大会記念講演「地域社会の将来展望と学校統廃合」	鬼嶋正之	058
投稿論文		
近代日本における聾啞運動と社会教育		
一雑誌『聾啞界』の検討から	池田法子	072
1950年代の日教組全国教研集会報告書にみる障害児教育		
一普通学級での障害児教育の在り方を中心に	久米祐子	088
コミュニティ・スクール指定解消校における学校統廃合プロセスの検討	大橋保明	105
公教育計画研究レポート		
戦後初期教職員組合運動の実相		
一日教組結成前史 I	染谷幹夫	122
公教育・公教育理論の動向		
2030年に向けた国際的教育アジェンダにみるインクルーシブ教育	福地健太郎	140
統計資料と解題		
非正規教職員の实態とその考察(2)		
一2015年度文部科学省教職員実数調から実態を考察する	武波謙三	154
文部科学省による「学校教食費の徴収状況に関する調査」について		
一給食費未納を親のモラルの問題と片付けてよいのか	鳳咲子	171
書評		
中村文夫『子どもの貧困と公教育』	山城直美	188
大貫隆志編著・住友剛・武田さち子		
『指導死—追いつめられ、死を選んだ七人の子どもたち』	福山文子	191
英文摘要	Robin E. Sowden	196
編集後記	石川多加子	211